

トヨタHVなどへの税制優遇策期待



自動車メーカー各社と連邦政府が交渉に入つて10月で満2年が経過した。トヨタは、**プラジル**国内におけるハイブリッド自動車(HV)と電気自動車(EV)に対する優遇政策が、2014年第1四半期(1~3月期)にも導入されると期待している。

CKDで南米輸出も可能?

この優遇政策に伴い同社のプリウスの小売価格は、20%から25%割安になります、エタノール燃

料にも対応したモデルを

2017年に**ブラジル**国内生産に入る道が開けると期待される。

自動車メーカー側は、

工業製品税(IPI)の

免税と、一定枠を設けて

一時的に輸入税(II)

を減税するよう求めてい

るほか、州政府とは商品

サービス流通税(ICMS)

と車両税(IPVA)

の減税に向けて交渉

している。

トヨタによると、もし

すべての優遇政策が適用

された場合、同社のプリ

ウスの小売価格は9万5

千レアルまで低下。2014年から2015年の年明けにかけて年間販売台数が1千台に達

すると期待する。

トヨタによると、もし

すべての優遇政策が適用

された場合、同社のプリ

ウスの小売価格は9万5

